

じんラボ『内服薬』に関するアンケート調査結果

≪ 実施概要 ≫

【調査目的】 腎臓病・透析患者にとって、腎機能低下を抑えたり、透析治療では補えない症状等をコントロールしたり、毎日の生活で薬は必要不可欠な存在です。透析患者は殆ど尿が出ないことから、1日の水分量が制限されており、薬の量や飲みやすさは薬を服用する際の水分量に大きく影響するため、非常に重要です。そこで腎臓病・透析患者の内服薬の実態を把握し、薬のあり方を検討するため、アンケート調査を実施しました。

【調査方法】 WEBアンケート

【調査エリア】 全国

【調査対象】 腎臓病・透析患者・腎移植者 男女 年齢不問

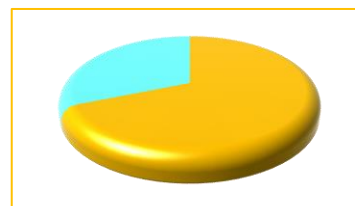
【調査期間】 2016年4月1日（金）～2016年4月8日（金）

【回答者】 85名

Q1 性別

- ① 男性
- ② 女性

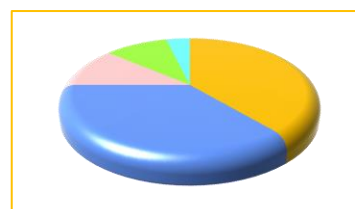
①	55	68.8%
②	25	31.3%



Q2 年代

- ① ~40代
- ② 50代
- ③ 60～65歳
- ④ 66～70歳
- ⑤ 71～75歳
- ⑥ 76～80歳
- ⑦ 81歳～

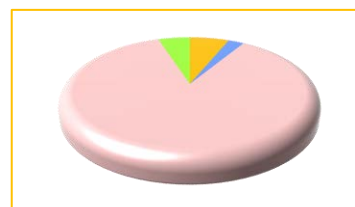
①	31	38.8%
②	29	36.3%
③	9	11.3%
④	8	10.0%
⑤	0	0.0%
⑥	3	3.8%
⑦	0	0.0%



Q3 腎臓病との関わり

- ① CKDステージG1～G3
- ② CKDステージG4（保存期腎不全）
- ③ CKDステージG5（透析を受けている）
- ④ 腎移植者

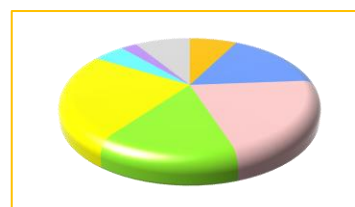
①	5	6.3%
②	2	2.5%
③	69	86.3%
④	4	5.0%



Q4 透析歴

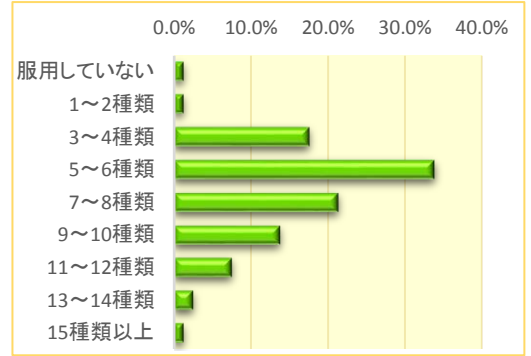
- ① 1年未満
- ② 1～2年
- ③ 3～5年
- ④ 6～10年
- ⑤ 11～20年
- ⑥ 21～30年
- ⑦ 31年以上
- ⑧ 透析していない

①	6	7.5%
②	13	16.3%
③	17	21.3%
④	12	15.0%
⑤	19	23.8%
⑥	4	5.0%
⑦	2	2.5%
⑧	7	8.8%



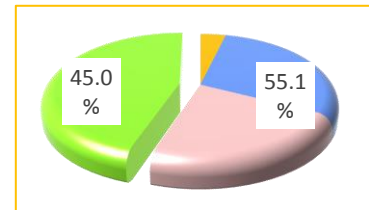
Q5 処方されている内服薬は何種類ありますか

① 服用していない	①	1	1.3%
② 1~2種類	②	1	1.3%
③ 3~4種類	③	14	17.5%
④ 5~6種類	④	27	33.8%
⑤ 7~8種類	⑤	17	21.3%
⑥ 9~10種類	⑥	11	13.8%
⑦ 11~12種類	⑦	6	7.5%
⑧ 13~14種類	⑧	2	2.5%
⑨ 15種類以上	⑨	1	1.3%



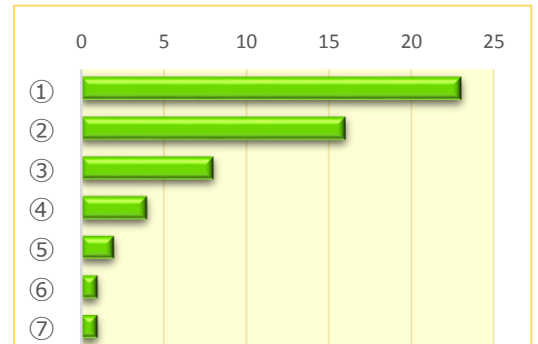
Q6 服用している薬が飲みづらい、使いづらいと感じることはありますか

① よくある	①	3	3.8%
② 時々ある	②	23	28.8%
③ あまりない	③	18	22.5%
④ まったくない	④	36	45.0%



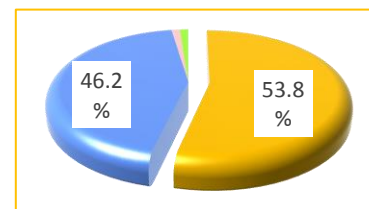
Q7 具体的にどういったところが飲みづらい、使いづらいと感じますか（記述式）

① 剤形に対する不満（共通事由：少量の水で飲むのが困難）	23
・ 粉薬・顆粒（のどに引っかかる、むせる等）	(10)
・ 錠剤（溶けやすく口の中に広がる、粒が大きい等）	(8)
・ チュアブル型（硬い、入れ歯では噛み砕けない、大きすぎる等）	(5)
② 薬の服用管理が大変（服用タイミングがバラバラ、数が多い等）	16
③ 包装シートが使いづらい、薬が出しづらい	8
④ 薬が苦い	4
⑤ 副作用がある	2
⑥ 医師からの説明がなく効用に疑問	1
⑦ 薬価が高い	1



Q8 処方された薬はすべて服用していますか

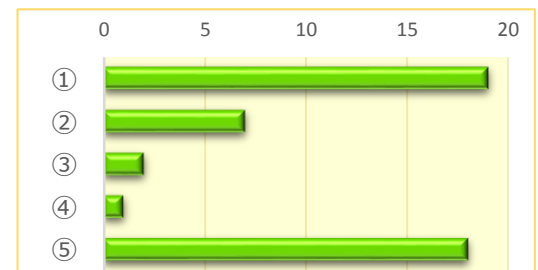
① 必ず飲んでいる	①	43	53.8%
② 時々飲まない時がある	②	35	43.8%
③ あまり飲まない	③	1	1.2%
④ ほとんど飲まない	④	1	1.2%



Q9 処方された薬を飲まないのはなぜですか【複数回答可】

※ Q8で①以外に回答された方 N=37

① 飲み忘れる	①	19	51.4%
② 飲まなくても数値が安定している	②	7	18.9%
③ 飲むのが面倒	③	2	5.4%
④ 副作用がづらい	④	1	2.7%
⑤ その他	⑤	18	48.6%



※ その他回答された方のうち、9名（24.3%）の方が
 『朝食を食べる習慣がなく服用しない』などの
 「生活サイクルと処方の不一致から、あえて飲んでいない」という理由でした